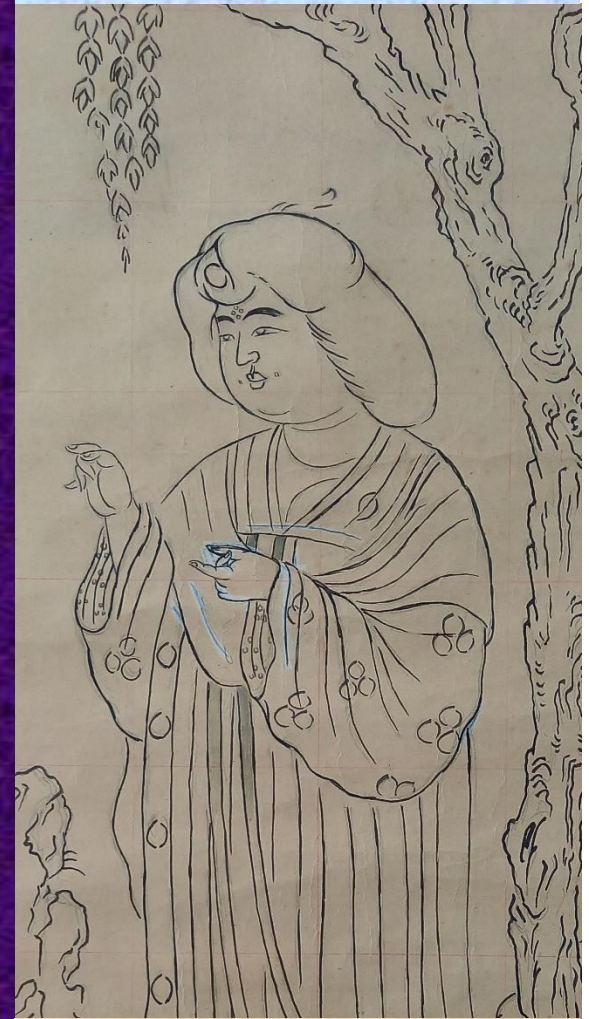


奈良学総合文化研究所  
近年新収資料特集展示

# 古代美探求

—奈良の近代  
まなざしといとなみの諸相—



2023年  
2/24-3/18



帝塚山大学附属博物館

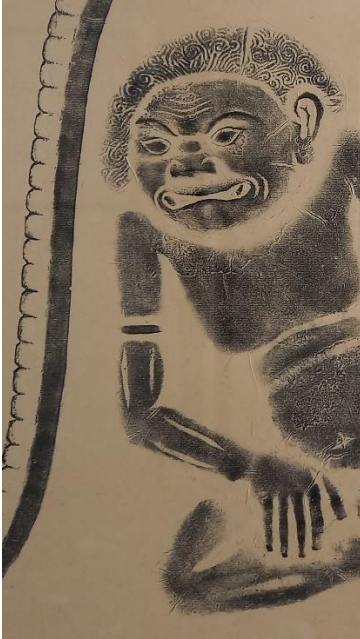
開催予告





# 古代美探求

—奈良の近代 まなざしといとなみの諸相—



明治から昭和戦前期にかけて——現在のようには、写真を手軽に撮ることがかなわなかった時代の資料からは、いにしへの奈良大和路の美に注がれた、熱いまなざしが感じられます。

今回の展示は、奈良の文化財をめぐって有名・無名の人びとが残した、さまざまな成果——仏像の写真、彩色文様の図譜、国宝彫刻の拓本、正倉院宝物の模写、そして肉筆の絵で彩られた研究ノートなど——を通じて、「古代美探求」のいとなみを見つめてみようとするものです。



## § § § 展 示 構 成 § § §

- 序◆ 肉迫の画角 —— 土門拳がとらえた奈良の仏像 ——
- 1◆ 接近の最初 —— 飛鳥園・小川晴暘と『室生寺大観』 ——
- 2◆ 美麗の蘇生 —— 美術院・新納忠之介と『国宝浄瑠璃寺文様』 ——
- 3◆ 拓影の清玩 —— 薬師寺金堂台座拓本と『古代藝術拓本稀観』 ——
- 4◆ 執念の絵筆 —— 日本画家・久留春年と『正倉院式文様集』 ——
- 5◆ 無名の探求 —— 謎の肉筆本、『法隆寺天蓋仏の研究』 ——

【開館日時】2月24日(金)～3月18日(土) 9:30～16:30【日曜休館】

